



小学校高学年《5・6年生》のみなさんへ

夏休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2014年版]

	書名 作者名 出版社	内容
絵本	「いわたくんちのおばあちゃん」  天野 夏美 作 はまの ゆか 絵 主婦の友社	いわたくんのおばあちゃんは、写真をとられることをいやがります。そこには悲しい理由があったのです…。ひばくから60年目の夏に、ある小学校で実際に行われた平和を考える授業。そこで語られた1枚の写真をもとにしたお話です。
絵本	「さがしています」  アーサー・ビナード 作 岡倉 禎志 写真 童心社	ピカドンを体験した声なき「もの」たちが、さがしています。たいせつな人びとを、未来につづく道を…。広島平和記念資料館におさめられている14の「もの」がカタリベとなり、1945年8月6日に何が起こったのかを伝えます。
図書	「21世紀版少年少女世界文学館 6 宝島」  井上 靖 企画編集 講談社	ジム少年は、トレローニさんや医者のリブシー先生とともに、海ぞくフリント船長がうめた、ばく大な財ほうをさがしに船を出します。ぶきみな1本足の海ぞくシルバーのいんぼうにまきこまれ、はげしい戦いが始まります。手にあせにぎる海洋ぼう険小説の名作です。
図書	「つくろいものやはじめます」  水沢 いおり 作 石橋 富士子 絵 偕成社	お江戸の町に、さいほう箱から飛び出したあやかしたちが始めた、つくろいものやがありました。お店をひらいて10日後、はじめてやってきたお客さんは、黄金色をした、めずらしい布地を持った女の子で…。
図書	「つづきの図書館」  柏葉 幸子 作 山本 容子 絵 講談社	「青田早苗ちゃんのつづきが知りたいんじゃ!」 司書の桃さんにそう言ったのは、絵本の中から出てきた、はだかの王様でした。いなか町と図書館をぶたいたした、ユーモアたっぷりの心が温まるファンタジーです。

	書名 作者名 出版社	内容
図書	「徳田さん家はおばけの一家」  ねじめ 正一 作 武田 美穂 絵 講談社	おばけの徳田家は、血のつながっていないよせ集めの家族です。ある日、徳田家のみんなが働く、浅草おばけ屋敷が閉館し、「わんにゃん天国」というしせつができると聞きました。でも、「わんにゃん天国」にいる犬やねこの様子がおかしいと知り…。
図書	「夏の庭」  湯本 香樹実 作 徳間書店	12歳の夏、ぼくたちは「死」について知りたいと思ひ、「もうすぐ死ぬんじゃないか」とうわさされる、一人暮らしのおじいさんを見張り始めましたが…。三人の少年と、ごどくな老人のかけがえのない夏が始まります。
図書	「願いがかなうふしぎな日記」  本田 有明 著 PHP研究所	おばあちゃんから「書くと望みがかなう」日記帳をもらった光平。両親が仲直りしてほしい、泳げるようになりたい。そして、光平にはどうしても実現させたい願いが…。
図書	「ぼくの職場は富士山です」  近藤 光一 著 講談社	山登りなんて興味のなかった男を夢中にさせた富士山は、自然のきびしさとすばらしさ、そして人の心の温かさを教えてくれます。500回近く富士山に登った作者が、ガイドとして見た富士山のよいところ、思いをつづっています。
図書	「ユウキ」  伊藤 遊 作 上出 慎也 画 福音館書店	転校生の名前は、いつも「ユウキ」。祐基、悠樹、勇毅…。思い出といたみを残して去っていった転校生たち。そして今、ケイタの目の前に、長いかみをしたひとりの女の子が現われました。